

# どうなる 日吉台地区 のみなさま

富里市に成長をもたらした日吉台地区。誕生から30数年経過をしたが、少子高齢化も進み、空き店舗も存在する現状で、現在も成長を成し遂げているといえるのだろうか。日吉台地区が、安心・安全な、そして更なる成長をし続ける事が、富里市の成長となるのです。

だから  
**いがらし博文**  
なんです！

## 思いと覚悟

いがらし博文ひろふみは、富里市職員として47歳のときに、「改革」と「実感ある政策」の出来る政治家を目指し退職。その後、秘書として3年間経験。だから、「思い」が違います。「覚悟」が違います。

## 経 験

いがらし博文は、日吉台開発・5丁目マンション計画・6丁目前不動ヶ岡開発・グリーンベルト・暫定調整池・ダイエー跡地・道路・商工等をはじめ、富里インターチェンジ周辺の土地区画整理事業・国道409号4車線化・都市計画・開発行為等に携わる。そして、日吉台地区の隅々まで何度も歩き、変化を見つけてきている。誰よりも知り尽くしているからこそ、地区の声を即座に受け止め、日吉台地区の成長に向け、力が発揮できるのです。

### 必ず実行！ その1 ごみ真空輸送施設

開発当初、最先端の導入と話題となったごみ真空輸送システム。しかし、本当に市民が負担する施設でよいのか。刻々と老朽化も進み、機能の停止に陥ったなら、市民の生活はどうなるのか。将来に向けた日吉台ゴミ収集体制を明らかにするとともに、施設の行政移管・補助金増額と市民の負担軽減と生活を守るべき。

### 必ず実行！ その2 防 災

東日本巨大地震の経験で再認識した「災害は、正確で且つスピーディな情報の伝達」。いまの富里市の防災無線は機能を果たしたのか。各戸へ防災無線を設置し、情報伝達の徹底化を図り、市民の安全を守るべき。

### 必ず実行！ その3 バスの拡充

少子高齢化が進む中で、自家用車の運転が出来なくなったなら…循環バスの地区内導入と駅乗り入れにより解消すべき。「駅がない」のではなく「駅がなくとも」といえる交通体系の拡充を図るべき。

### 必ず実行！ その4 少子高齢化

少子高齢化に関する新規事業者に対し、運転資金補助金を導入する事で、民間の参画の機会の創出と、行政とのタイアップの充実を図るべき。

### 必ず実行！ その5 商 店 街

空き店舗も存在する商店街。もはや事業主・商店街だけでなく、4者(行政・議会・商店街・市民)により、活性化ビジョンと責任分担を明確にし進めるべき。

充電完了！  
ちから みなぎ  
力が漲る50歳



いがらし博文

